第３０号
令和７年１０月
協議体通信
（各中学校区エリア）

ふくつのふくし

発行元　福津市社会福祉協議会
（ふくとぴあ2階）
TEL　0940-34-3341

福間東中エリア　誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指して！

光陽台６区自治会は、今年度の総会で連絡事項だけになりがちな組長会議に、年６回研修を盛り込むことを決めました。役員で内容を考え、福津市基幹相談支援センターの講話を聞いたり、車いす・アイマスク体験を行いました。

アイマスク体験の様子

八尋さん

自治会長の八尋さんは「高齢者の多い地域ではあるが、障がい者に優しい光陽台６丁目にしようとの目標を掲げている。一緒にやる役員がとても熱心だ。組長が学んだことを組長の世間話を通じて地域に広めてほしい」と話されます。

参加した組長からは、「講話を聴き、市内の取組みを知ることができた」「近所の人の車いすを畳むことに役立った」との声が聞かれています。

津屋崎中エリア　岡の三シニア会 買い物支援を始めました！

岡の三区シニア会は、令和７年４月から社会福祉協議会の外出支援団体サポート事業の車両を使用しての、買い物支援を月２回（第２・４水曜日の１３:３０～）始めています。

きっかけは、代表の佐々木さんが以前自治会長だった時、買い物に困っている地域住民の声を聞き、この地域の住民には支援が必要で、誰かが始めないといけないと思ったことで、有志３人で活動を始めました。

佐々木さん

行きは集合場所まで、帰りは荷物があるので自宅近くまで送迎をしています

佐々木さんは「他地区で買い物支援をしている人から、一歩踏み出せば何とかなる！と背中を押された。活動を長く続けるために、もっと組織的な活動にしていきたい」と語っていました。

参加者は「スーパーが遠いので助かっています」と言われ、車中では会話が弾み、“移動するおしゃべり会”となっていました。

福間中エリア　はじめての取り組み 多世代交流できる催しを開催！

光陽台２区福祉会は、毎月第１土曜日に仲良しサロンを開催し、高齢者を対象に健康体操、トランプゲームなどを催し、気軽にくつろげる場所として皆さんに楽しんでもらっています。

そんな中、「以前のように、みんなで楽しめる集いを開催したい」との声から、今年度は子どもたちにも来てもらえる夏の集いを開きました。

また、通常の回覧では目に留まりにくいと、個別でもお手紙を配ったことで、たくさんの子どもと若い親御さんたちも参加してくれました。ゲームをしたり、フランクフルトなどを食べたり、「いつもと違うにぎやかさがいいね」とにぎわっていました。これを機に、新たに通常の仲良しサロンへの参加者が増えたことも、嬉しい結果となりました。

**役員会での話し合いを大切にしている
福祉会長　玉来さん**

※福津市社会福祉協議会は、福津市から第1層・第2層生活支援コーディネーター（SC）支援業務を受託しています。生活支援コーディネーター（SC）は、地域の「**あること（社会資源）**」と「**あったらいいな（地域ニーズ）**」を見つけ、つなぎ合わせたり足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支え合いの体制づくりを進めていく役割を担っています。